

## 留学は特別じゃない

私は4年生の秋学期に商学部箇所間留学プログラムにてEDHEC Business Schoolに留学しました。1年を通して暖かく日差しの降り注ぐ、南仏の地中海沿いニースにて半年間を過ごしました。

留学理由は2つあります。①包括的な英語能力の向上と②実体験に基づく海外知見の獲得です。①に関しては、就職を控えるなかで会話中心に英語能力を鍛え、将来グローバルに活躍出来るようになりたいからです。②に関しては、海外滞在経験が無かったので実際に外国の人々と密接に交流し、国外から日本を再評価してみたいからです。

結果的に2つとも十分に達成することが出来ました。前提として全授業英語で行われ、ビジネススクールなので実学的な内容が主でした。商学部での知識や経験を活かせるものの、インプットとアウトプット共に全て英語で行うのは大変でした。授業の多くは教授・生徒が双方向に話し合いディス

カッションする形式で、私は4クラスのグループワークとプレゼンテーションを並行して行いました。期末試験はケーススタディが主で、知識と経験を総動員して乗り切りました。日常生活でも英語を話すことが必須であり、この環境の中で自ずと英語能力(特に会話能力)は向上しました。ちなみにフランス語の授業も開講されていました。

一方、楽しい出来事も数多くありました。学内でのワールドフェアでは日本代表として日本の魅力をアピールし、同級生たちから好評を得て表彰もされました。また日常のご飯を食べ飲みに行き密にコミュニケーションする中で、各国の留学生と現地の学生の双方と仲良くなれたことは貴重な経験でした。休日にヨーロッパ各地を旅行した際には、各国の人々と交流し異文化を直に体感することが出来ました。また、これらの経験から海外の良さだけでなく日本の良さに気づくことも多く、改めて自国をプラス

に評価するきっかけとなりました。

個人的に留学して良かったことの一つは「留学しなかったことを後悔せずに済む」ことです。当初は海外滞在経験が無く不安でしたが、やらない後悔よりやる後悔だと奮起し参加しました。留学を経験できたことで海外交流の心理的ハードルが劇的に下がりました。振り返ってみれば意外と余裕をもって乗り越えられたと、成長を実感することが出来ました。

日本と海外では文化や価値観に異なる点が存在しますが、留学を通して結局みな同じ人間だと感じました。そして今では留学も一般的な学生生活の延長線上であり、海外交流は当たり前だと考えています。

だからこそ、留学は特別じゃない。けれど貴重で意義のある大切な経験です。

皆さんもぜひ留学に挑戦してください。応援しています！



■ 商学部 4年  
中塚 理央

## 視野を広げた1年間

私は3年生の秋学期から1年間、商学部箇所間留学プログラムを利用してオーストリアのウィーン経済大学に留学しました。留学先に志望した一番の理由は、馴染みのないヨーロッパで新たな経験をし、学生としてだけでなく人として成長したいと思ったからです。ウィーン経済大学は世界各国からの留学生を受け入れており、様々な価値観に触れることができるとともに、ビジネスに関する専門的な授業が豊富にあるので、目標に最適な環境でした。

ウィーンへの留学は、目標通り学業面で新たな視点を得られただけでなく、ほかの活動においても様々な体験から新たな価値観や文化を学び、視野を広げ、人として成長できたと感じています。

大学では、インタビューやフィールドワークなど日本ではあまりみられない実践的な授業を中心に履修しました。実際にホテルのオーナーにインタビューをして経営方針や

マーケティング方法などを聞きました。それを元に今後の活動を提言するプレゼンテーションを行い、ホテルのオーナーからフィードバックを頂くという貴重な経験をしました。授業ではアジア人が自分1人ということも少なくなく、ディスカッションの際にはアジアは他国からどう見られているか、経済活動に関する価値観や文化の違いなど、活発に議論したことが印象に残っています。また他国の学生と直接意見交換できたことは、留学ならではの経験だったと思います。これらの経験を通して、同じ大学生でも母国の経済状況や宗教・文化によって物事の見方が多様であること、そしてそれらを尊重したうえでアイデアを膨らませる面白さと大切さを実感しました。

オーストリアは中欧に位置しているため周辺国に行きやすく、休日は友達とヨーロッパの国々を沢山旅行しました。ヨーロッパには日本と違う所が山ほどありますが、バ

ルカン半島など馴染みのない土地への旅行では特に多くの発見があり、それぞれの国の良さを再認識しました。年齢やバックグラウンドが異なる他国の学生との旅行では新たな考え方や文化に触れることができ、多くの学びがありました。また留学生にはギャップイヤーや休学を利用したことのある人も多く、将来の夢の規模や方向性も様々でした。このような学生と交流できたことは、将来のプランを見つめ直すきっかけにもなりました。

留学では想像していた以上の貴重な出会いやここには書ききれないほどの経験がありました。入学当初は留学に対してあまり意欲的ではありませんでしたが、今では留学して本当に良かったと思っています。

もし少しでも迷っているならば、話を聞いてみるなど小さくてもいいので留学への一歩を踏み出すことをおすすめします。



■ 商学部 3年  
長谷川 彩佳